

公共下水道事業特別会計 [上下水道部 下水道課 所管]

1. 概要

坂東市公共下水道事業は、単独公共下水道の岩井処理区と利根左岸さしま流域関連公共下水道の猿島処理区の事業を進めてきた。平成 28 年度末現在、汚水については認可区域面積 1063.2 h a のうち処理面積 782.31 h a、処理人口 19,879 人、管渠延長約 186.53 k m の供用を開始し、下水道普及率は 35.81%、水洗化率 71.98%となっている。雨水については管渠延長約 9.47 k m の供用を開始している。

汚水管渠工事については、坂東インター工業団地の整備が概ね終了し、平成 30 年度は岩井・猿島両処理区とも公共下水道と特定環境保全公共下水道の整備を図る。

雨水管渠工事については、汚水管渠工事と同様に坂東インター工業団地の整備が概ね終了し、平成 30 年度は、都市計画道路の整備に合わせ、岩井辺田地区・江川第五排水区の整備を図っていく。

岩井浄化センターについては、平成 5 年 3 月の供用開始後、25 年が経過しているため、施設の各所に老朽化による故障等が目立ってきており、平成 25 年度に作成した坂東市長寿命化計画（岩井浄化センター他 2 ポンプ場）に基づき、本年度も長寿命化工事を実施し、並行して、ストックマネジメント実施計画を作成する。

2. 歳入の状況

(単位：千円、%)

款	項	平成30年度		平成29年度		増減額	増減率
			構成比		構成比		
1. 分担金及び負担金	負担金	33,407	2.2	57,831	2.9	△ 24,424	△ 42.2
2. 使用料及び手数料		371,505	24.0	365,461	18.0	6,044	1.7
	使用料	371,073	24.0	365,089	18.0	5,984	1.6
	手数料	432	0.0	372	0.0	60	16.1
3. 国庫支出金	国庫補助金	201,790	13.1	371,867	18.3	△ 170,077	△ 45.7
4. 県支出金	県補助金	1,200	0.1	600	0.0	600	100.0
5. 繰入金	他会計繰入金	677,496	43.9	703,939	34.6	△ 26,443	△ 3.8
6. 繰越金	繰越金	10,000	0.6	10,000	0.5	0	0.0
7. 諸収入		2	0.0	2	0.0	0	0.0
	延滞金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
	雑入	1	0.0	1	0.0	0	0.0
8. 市債	市債	249,300	16.1	522,800	25.7	△ 273,500	△ 52.3
歳入合計		1,544,700	100.0	2,032,500	100.0	△ 487,800	△ 24.0

3. 歳出の状況

(単位：千円、%)

款	項	平成30年度		平成29年度		増減額	増減率
			構成比		構成比		
1. 下水道事業費	下水道事業費	920,875	59.6	1,406,518	69.2	△ 485,643	△ 34.5
2. 公債費	公債費	620,825	40.2	622,982	30.7	△ 2,157	△ 0.3
3. 予備費	予備費	3,000	0.2	3,000	0.1	0	0.0
歳出合計		1,544,700	100.0	2,032,500	100.0	△ 487,800	△ 24.0

○公共下水道事業（岩井処理区）に要する経費（01010201） 162,599千円（188,612千円）

予算書 P279

〈国・県：63,300千円 地方債：64,400千円 その他：5,721千円 一財：29,178千円〉

* 特定財源積算根拠

・国補：防災・安全交付金	62,800,000円
・県補：下水道整備支援事業費補助金	500,000円
・地方債：公共下水道事業債	64,400,000円
・負担金：受益者負担金	5,721,000円

（目的及び期待する効果）

公共下水道を利用することにより、市民の快適な生活環境を維持するとともに、公共用水域の水質保全を図るため、昨年度に引き続き岩井浄化センター他2ポンプ場の水処理施設の長寿命化工事を実施する。また、下水道施設全体の老朽化によるリスクを把握し、持続可能な下水道事業の実現を目的に下水道施設の計画的かつ効率的に管理をするための計画を策定する。

（内容）

岩井処理区の施設の長寿命化及び污水管渠を整備する。

・水処理施設長寿命化工事委託料	70,910,000円
・ストックマネジメント計画策定委託料	30,000,000円
・岩井処理区工事請負費	59,529,000円
面整備工事	
三本松中西線污水管渠工事	
汚水ます設置工事	30ヶ所
路面復旧工事等	
鉄蓋取換工事	20ヶ所

○公共下水道事業（猿島処理区）に要する経費（01010202） 13,000千円（215,746千円）

予算書 P279

〈国・県：100千円 地方債：7,500千円 その他：400千円 一財：5,000千円〉

* 特定財源積算根拠

・県補：下水道整備支援事業費補助金	100,000円
・地方債：公共下水道事業債	7,500,000円
・負担金：受益者負担金	400,000円

（目的及び期待する効果）

市街化区域から排水される汚水を流下させるための管渠及びマンホール等を整備し、公共下水道を利用することにより、市民の快適な生活環境を維持するとともに、公共用水域の水質保全を図る。

（内容）

猿島処理区の污水管渠を整備する。

・猿島処理区工事請負費	13,000,000円
面整備工事	
汚水ます設置工事	10ヶ所
路面復旧工事等	
鉄蓋取換工事	10ヶ所

○雨水幹線整備事業に要する経費（01010203） 69,076千円（418,190千円） 予算書 P279

〈国・県：32,038千円 地方債：29,000千円 一財：8,038千円〉

* 特定財源積算根拠

- ・国補：防災・安全交付金 32,038,000 円
- ・地方債：公共下水道事業債 29,000,000 円

(目的及び期待する効果)

市街化区域の雨水管渠を整備し、浸水を防止する。

(内容)

- ・三本松中西線雨水管渠工事 64,076,000 円

○特定環境保全公共下水道事業（岩井処理区）に要する経費（01010301）

130,503 千円（111,292 千円） 予算書 P279

〈国・県：51,396 千円 地方債：67,300 千円 その他：6,220 千円 一財：5,587 千円〉

*** 特定財源積算根拠**

- ・国補：社会資本整備総合交付金（特定環境保全公共下水道事業） 50,996,000 円
- ・県補：下水道整備支援事業費補助金 400,000 円
- ・地方債：特定環境保全公共下水道事業債 67,300,000 円
- ・負担金：受益者負担金 6,220,000 円

(目的及び期待する効果)

市街化調整区域から排水される汚水を流下させるための管渠を整備し、公共下水道を利用することにより、市民の快適な生活環境を維持するとともに、公共用水域の水質保全を図る。

(内容)

岩井処理区の汚水管渠を整備する。

- ・上岩井地区境界立会測量 500,000 円
- ・上岩井汚水管渠工事 25,347,600 円
- ・馬立幸田地区汚水管渠工事 86,895,000 円
- ・岩井処理区工事請負費 17,760,000 円
 - 汚水ます新設工事 10ヶ所
 - 路面復旧工事等
 - 鉄蓋取換工事 5ヶ所

○特定環境保全公共下水道事業（猿島処理区）に要する経費（01010302）

131,909 千円（57,690 千円） 予算書 P279

〈国・県：56,156 千円 地方債：64,700 千円 その他：6,393 千円 一財：4,660 千円〉

*** 特定財源積算根拠**

- ・国補：社会資本整備総合交付金（特定環境保全公共下水道事業） 55,956,000 円
- ・県補：下水道整備支援事業費補助金 200,000 円
- ・地方債：特定環境保全公共下水道事業債 64,700,000 円
- ・負担金：受益者負担金 6,393,000 円

(目的及び期待する効果)

市街化調整区域から排水される汚水を流下させるための管渠を整備し、公共下水道を利用することにより、市民の快適な生活環境を維持するとともに、公共用水域の水質保全を図る。

(内容)

猿島処理区の汚水管渠を整備する。

- ・半谷富田第2処理分区汚水管渠実施設計業務委託料 33,793,200 円
- ・生子第6処理分区汚水管渠工事 37,620,000 円
- ・半谷第2処理分区汚水管渠工事 54,585,000 円
- ・猿島処理区工事請負費 3,750,000 円
 - 汚水ます新設工事 5ヶ所

路面復旧工事等
鉄蓋取換工事 5ヶ所

○流域下水道事業負担金に要する経費（01010401） 90,101 千円（69,555 千円） 予算書 P280
〈地方債：16,400 千円 その他：66,297 千円 一財：7,404 千円〉

*** 特定財源積算根拠**

・地方債：流域下水道事業債	16,400,000 円
・負担金：受益者負担金	5,346,000 円
・使用料：公共下水道使用料	60,951,000 円

(目的及び期待する効果)

猿島処理区の汚水は流域下水道の処理場（さしまアクアステーション）に流下させており、建設及び維持管理を適切に行うため、負担金を支払っている。

(内容)

・利根左岸さしま流域下水道建設負担金	21,746,000 円
・流域下水道公園整備負担金	1,080,000 円
・流域下水道維持管理負担金	67,275,000 円

○管渠維持管理に要する経費（01010501） 16,955 千円（16,744 千円） 予算書 P280
〈その他：16,955 千円〉

*** 特定財源積算根拠**

・使用料：公共下水道使用料	16,955,000 円
---------------	--------------

(目的及び期待する効果)

市内から排水される汚水を流下させるための管渠の適切な維持管理を行うことにより、管渠の閉塞等を防止する。

(内容)

下水道管渠の維持管理のために管渠の調査と管渠に堆積する土砂等を除去し、漏水及び破損箇所の補修をする。また、下水道台帳を更新するため業務委託する。

・下水道管渠清掃委託料	2,494,800 円
・岩井・猿島処理区下水道台帳作成業務委託料	6,480,000 円
・管渠等漏水調査委託料	2,700,000 円
・管渠等維持補修工事費	4,000,000 円

○浄化センター運営に要する経費（01010601） 190,369 千円（189,208 千円） 予算書 P280
〈その他：190,369 千円〉

*** 特定財源積算根拠**

・使用料：公共下水道使用料	190,369,000 円
---------------	---------------

(目的及び期待する効果)

岩井処理区から排水される汚水を、管渠・ポンプ場を経て流下させ、岩井浄化センターで処理することにより市民の快適な生活環境を維持するとともに公共用水域の水質を図る。

(内容)

岩井浄化センターは、平成 29 年度見込みで年間約 206.3 万³、1 日平均 5,652 m³の汚水を標準活性汚泥法により処理しており、施設の維持管理を行っている。

・施設維持管理業務委託料	72,233,000 円
岩井浄化センター、辺田・幸田ポンプ場、マンホールポンプの施設運転管理業務	
・脱水汚泥等処理業務委託料	43,926,000 円

- 岩井浄化センターで発生する脱水汚泥の収集運搬処理業務 2,088t
- ・修繕料 31,262,000 円
- 岩井浄化センター、辺田・幸田ポンプ場、マンホールポンプの電気、機械設備等修繕
- ・光熱水費 31,878,000 円
- 岩井浄化センター、辺田・幸田ポンプ場、マンホールポンプの電気・水道料金

○地方債償還に要する経費（02010101） 508,179 千円（501,636 千円） 予算書 P281

〈その他：9,327 千円 一財：498,852 千円〉

* 特定財源積算根拠

- ・負担金：受益者負担金 9,327,000 円

(内容)

地方債元金償還金

平成29年度末現在高見込額	6,583,187千円
平成30年度元金借入見込額	249,300千円
平成30年度元金支払額	508,179千円
うち財務省	165,293千円
地方公共団体金融機構	155,240千円
旧簡保資金	57,222千円
岩井農業協同組合	67,544千円
常陽銀行	10,780千円
茨城むつみ農業協同組合	52,100千円
平成30年度末現在高見込額	6,324,308千円

○地方債償還に要する経費（02010201） 112,646 千円（121,346 千円） 予算書 P281

〈一財：112,646 千円〉

(内容)

地方債利子償還金

財務省	46,513 千円
地方公共団体金融機構	43,831 千円
旧簡保資金	14,438 千円
岩井農業協同組合	2,023 千円
常陽銀行	786 千円
茨城むつみ農業協同組合	2,346 千円
銀行等引受資金	2,709 千円

※ 参考資料

◎整備状況

	平成28年度末	平成29年度末 (見込)	平成30年度末 (見込)
住 基 人 口 (A)	55,514人	55,232人	54,950人
处 理 人 口 (B)	19,879人	19,897人	19,917人
普 及 率 (C)=(B)/(A)	35.8%	36.0%	36.2%
整備区域面積	782.31ha	818.43ha	845.03ha
整備人口	19,879人	19,897人	19,917人
処理区域面積	782.31ha	818.43ha	845.03ha
水洗化人口(D)	14,308人	14,713人	15,013人
水洗化率(E)=(D)/(B)	72.0%	73.9%	75.4%